

1 血液事業の現状

本県における血液事業は、昭和39年8月献血推進についての閣議決定以来、国内の医療で使用されるすべての血液製剤を献血によって確保することを目指し、400mL献血の推進と血液製剤の適正使用に力を入れてきたところである。

血液製剤が将来にわたって安定的に供給される体制を維持する必要があることから、関係団体と連携し、献血に対する正しい理解の促進や、若年層献血者及び複数回献血者の確保等の献血運動を推進するとともに、医療機関における一層の血液製剤の適正使用の促進に努めている。

【表1 年度別献血者数】下段（ ）内は計画目標数（16年度から策定）（単位：人）

年度	200mL 献血	400mL 献血	成分献血	合計
R1	51 (0)	149,808 (145,077)	57,567 (57,794)	207,426 (202,871)
R2	65 (0)	148,546 (145,562)	64,262 (68,325)	212,873 (213,887)
R3	231 (0)	148,329 (146,061)	65,621 (67,974)	214,181 (214,035)
R4	568 (0)	152,530 (146,949)	64,395 (68,559)	217,493 (215,508)
R5	396 (555)	153,267 (148,740)	65,275 (59,043)	218,938 (208,338)
R6	441 (525)	154,645 (150,520)	64,440 (61,013)	219,526 (212,058)

※R6年度は見込み

【表2 令和5年度年齢別・性別献血者数】（単位：人・％）

年 齢	16 ～19	20 ～29	30 ～39	40 ～49	50 ～59	60 ～69	計
男 性	7,513	18,903	22,682	37,362	46,467	22,557	155,484
女 性	2,780	10,406	9,639	14,007	18,763	7,859	63,454
計	10,293	29,309	32,321	51,369	65,230	30,416	218,938
構成比 (R4年度)	4.7 (4.6)	13.4 (13.9)	14.8 (15.4)	23.5 (24.4)	29.8 (28.5)	13.9 (13.2)	100.0 (100.0)

構成比は四捨五入により合計が100にならない場合がある

【表3 令和5年度献血による採血量】（単位：L）

区分	目標	実績
全 血 献 血	59,607	61,386
小 計	59,607	61,386
血漿成分献血	21,594	24,131
血小板成分献血	11,850	12,670
小 計	33,444	36,801
合 計	93,051	98,187

※小数点以下の端数処理により、合計が一致しない場合がある